

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015開幕!!

オープニング上映『鉄の子』

家族の絆と子どもの成長を描いた作品で 田畑智子、スギちゃん等が登壇

世界に先駆けてDシネマ(デジタルシネマ)にフォーカスし、次代を担う若手映像クリエイターの登竜門として2004年にスタートしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭(主催:埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会ほか)は、本日18日(土)、12回目となる開催初日を迎え、国内外からノミネート監督や審査員ほかゲストが来場してのオープニング・セレモニーとともに9日間にわたる映画祭が華やかに幕を開けました!

オープニング上映では、映画祭が製作をプロデュースし、新鋭・福山功起監督が地元川口市を舞台に“家族のあり方”を描いた『鉄の子』がワールド・プレミア上映され、出演の田畑智子、裊 ジョンミョン、スギちゃん、佐藤大志、舞優、福山功起監督が登壇。本当の家族のような雰囲気の人と、鋳物工場で働く

おじさん役を演じたスギちゃんが場を和ませる大変賑やかな舞台挨拶となりました。SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015は7月18日(土)～26日(日)の9日間、埼玉県川口市のSKIPシティほかで開催。会期中は長編部門12作品、短編部門12作品、アニメーション部門14作品の、3部門38作品がコンペティション上映され、審査員による最終審査を経て最終日26日に各賞が発表されるほか、関連企画、特別上映、関連イベントなど盛りだくさんの内容となっています。ぜひ本情報を貴媒体にてご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎上田 清司 埼玉県知事 (SKIPシティ国際映画祭実行委員会 会長)

今年の新たな試みとして、映画祭出身の監督に制作してもらったオープニング作品『鉄の子』は、子どもたちがたくましく育っていく様子を描いた感動ドラマを上映する。またサテライト上映を通して、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭を埼玉にしっかりと広げていく。そして今回も多く国と地域から色々な作品が揃った。この映画祭が、この川口、埼玉、日本そして世界に広がることを心から期待して止まない。

◎奥ノ木 信夫 川口市長 (SKIPシティ国際映画祭実行委員会 副会長)

この映画祭は、若手映像クリエイターの発掘と、Dシネマの普及を掲げている。それぞれが既に大きく達成され、今さらなる飛躍をしているところである。地元川口では映画祭のボランティアの方が年々増えており、また「川口市民賞」を設け、短編作品を顕彰している。毎年レベルアップしていると評価をいただいている。これから9日間の間、ぜひSKIPシティに足を運んでいただきたい。

オープニング上映『鉄の子』 ワールド・プレミア舞台挨拶

今年のオープニング作品は、過去2度本映画祭にノミネート経験のある福山功起監督が手がけた『鉄の子』。オープニング作品を映画祭がプロデュースするという本映画祭でも初めての試みで完成した本作のワールド・プレミア上映にあわせ、出演者と監督による舞台挨拶が行われました。撮影現場でのエピソードをそれぞれが語る場面では「家族の雰囲気を出すのに、撮影期間中はずっと皆と一緒にしようと心がけた」と田畑智子さんが語ると、夫役を演じた裊 ジョンミョンさんが「田畑さんと共演できたことが良い経験になった。胸を借りる思いで演じた」と明かし、そんな二人を離婚させようとする血のつながらない姉弟を演じた佐藤大志さんと舞優さんが「みんなで楽しくご飯を食べたことが思い出」と本当の家族のような雰囲気を感じさせるコメント。福山監督から「今回は芸人・スギちゃんではなく“役者スギちゃん”をお願いします」とオファーされたというスギちゃんは鋳物工場のおじさん役を熱演。「ぱっと見僕だと気づかれないかもしれない。監督とは相性がよく、長い付き合いになりそう?」と発言すると会場からは拍手も飛びかきました。最後に福山監督が「僕の実話をもとにした作品。子どもの成長や家族の絆を“鉄”と表現している。主人公の陸太郎は僕自身なんです。」と作品に込めた思いを語ると、すかさずスギちゃんから「監督、美化しすぎじゃないの?」とツッコミが入るなど、終始笑いの絶えない賑やかな舞台挨拶となりました。今回、ワールド・プレミアとなった『鉄の子』は今後劇場公開も予定されています。



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015オープニング上映作品

『鉄の子』

<STORY>

小学生の陸太郎は母親の再婚により、同学年の真理子とキョウダイとなる。それをクラスメイトにからかわれることにうんざりした二人は、「リコンドウメイ」を作り、あの手この手で両親を離婚させようとする。ところが、両親の仲は悪くなるどころか、どんどん良くなっていくのであった…

監督:福山 功起 出演:田畑智子、佐藤大志、舞優、裴ジョンミョン、スギちゃん

製作:埼玉県／SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ、制作プロダクション:アルタミラピクチャーズ<2015年／日本／74分>

©2015 埼玉県／SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ

<2015／日本／74分>

【監督:福山功起】1969年東京都出身。映像制作JillMotion代表。2008年『アタシヲ産んだアイツ』2012年『わらわれもしない』がSKIPシティ国際Dシネマ映画祭にノミネート。2013年のオムニバス映画『埼玉家族』では娘編「ハカバノート」とオープニングを監督した。2012年製作の『夜だから』で長編劇場デビュー、本作が長編2作目となる。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015（第12回）

■会期:2015年7月18日(土)～26日(日) <9日間>

■会場:SKIPシティ 映像ホール／多目的ホール(埼玉県川口市)ほか

■主催:埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会

■公式サイト:www.skipcity-dcf.jp

<お問合せ>SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 担当:堀切

TEL:048-263-0818/FAX:048-262-5635/MAIL:horikiri@skipcity.com /携帯:090-4228-2342

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015 7.18(土)～26(日) 開催!!